

菟原郡津知村文書概要

| | |
|-----------|--|
| 1: 文書群番号 | 083008 |
| 2: 文書群名 | 菟原郡津知村文書 |
| 3: 出所 | 津知村 |
| 4: 家業・役職等 | - |
| 5: 地名 | 摂津国菟原郡津知村／兵庫県菟原郡津知村／菟原郡精道村津知／芦屋市津知町 |
| 6: 行政区分 | 幕府領／尼崎藩領／兵庫県第6区／深江組戸長役場／精道村／芦屋市 |
| 7: 歴史 | 津知村は芦屋川下流の右岸、三条村の南に接し、村内を西国街道が通っている。村高は106石余（天保郷帳ほか）、尼崎藩主青山氏時代（1635～1711）には家数11軒、人数81人（尼崎藩青山氏領地調）、1884年（明治17）には戸数20戸、人口103人、牛8頭（津知村誌）を数えた。西宮駅の助郷村で、1805年（文化2）の幕府による西国筋往還の測量には入用銀を負担した（新修芦屋市史）。 |
| 8: 伝来 | 昭和58年（1983）12月に古書籍商より購入、平成13年（2001）8月に整理・目録作成を完了。 |
| 9: 史料入手先 | 古書籍商 |
| 10: 点数 | 7点（目録件数7件） |
| 11: 年代 | 寛文8年（1667）～享保14年（1729） |
| 12: 構造と内容 | 本文書群は、旧尼崎藩領津知村に関する近世文書7点である。尼崎藩主青山氏時代のものがほとんどで、藩を介して領内村々へ伝達された寛文8年（1667）幕府評定所触れ書（内容は身分・生活に関する規制）や、貞享2年（1685）年貢免定、元禄5年（1692）津知村寺社改め帳、近世の村絵図がある。 |
| 13: 関連史料 | - |
| 14: 閲覧条件 | 原本 |
| 15: 作成者 | 松迫寿代 |